

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	ディグ・スマイル・高崎東教室			
○保護者評価実施期間	2026年6月1日 ～ 2026年6月30日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32	(回答者数)	27
○従業者評価実施期間	2026年6月1日 ～ 2026年6月13日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	2026年7月22日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者様との信頼関係の構築を得意としており、教室でのお子様の様子を丁寧かつ、分かりやすくお伝えできる。	送迎時にお子様の様子だけでなく、当日のプログラム内容やイベント情報についてもお伝えできるよう職員間で周知を行い、保護者様への情報共有の充実を図っている。また、アセスメント面談等では来所していただけるよう日程調整を行い、直接お話しする機会を設けることで、お子様の成長や前回面談時からの変化を具体的にお伝えできるよう工夫している。	保護者様や関係機関との対話の機会を積極的に設け、お子様の成長や課題をより具体的に共有することで、支援の方向性を共通認識として持てる体制づくりを進めていく。
2	保護者様の困りごとに寄り添い、状況に応じた具体的なアドバイスをを行うことで、家族支援につなげることができる。	保護者様からご相談をいただいた際には、一面的な情報だけで判断せず、ご本人様への確認や関係機関からの情報収集を行い、状況を多角的に把握した上で適切な相談支援につなげられるよう努めている。	家族支援の機会をさらに充実させるため、保護者様を対象とした希望調査アンケートの実施を検討し、潜在的な相談ニーズの把握や面談利用の促進につなげていく。
3	担当者会議やモニタリングに積極的に参加し、関係機関との連携・協力を通じて、お子様により良い支援を提供できる。	月内に複数名のモニタリングが予定されている場合は、関係者が効率的に参加できるよう日程を調整し、限られた日数の中でも多くのケースに参加してもらえるよう取り組んでいる。また、モニタリングや担当者会議の開催場所として教室の面談室を積極的に提供し、関係機関や保護者様に実際の教室環境や支援の様子を見ていただける機会を設けている。	お子様の様子や課題、成長の変化について職員間で継続的に情報共有を行い、さまざまな場面での状況を把握することで、保護者様や関係機関へより具体的に充実した情報提供ができるよう取り組んでいく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者様同士が交流し、情報共有や悩みを相談できる関係づくりを支援する取り組みが十分に実施できておらず、今後の課題である。	保護者様のご都合が多様であり、参加しやすい日時の設定が困難であったことから、交流会の開催に向けた調整が十分に進められなかった。	保護者様同士が気軽に交流できる機会を設けられるよう、事前アンケート等で参加しやすい日時や希望する内容を把握し、保護者会や交流会の開催を計画していく。また、対面での開催だけでなく、イベント時の交流機会の創出など、参加しやすい形式についても検討していく。
2	家族支援や相談支援の体制を整えているものの、その内容や利用方法について保護者様への周知が十分ではなく、支援を必要とする方に活用していただくための情報発信に課題がある。	支援体制は整備しているものの、定期的な案内や情報発信が十分ではなく、保護者様が相談できる機会や窓口について認識しづらい状況があった。	契約時の説明だけでなく、定期的なお便りや面談時の案内を通して、家族支援や相談支援の利用方法について継続的に周知していく。また、保護者様が相談しやすい環境づくりに努め、面談希望アンケート等を活用しながら支援につなげていく。
3	事故防止マニュアル等の説明は契約時に実施しているが、継続的な周知や再確認の機会が十分ではないため、より理解が深まるよう定期的な情報発信や確認の機会を設ける必要がある。	事故防止マニュアル等は契約時に説明を行うとともに、教室内に利用者閲覧ファイルを常備していたが、保護者様に対して定期的な案内や再確認の機会を十分に設けることができず、継続的な周知につながらなかった。	契約時の説明や閲覧ファイルの設置に加え、お便りや保護者会等を活用して定期的にマニュアルの内容を周知していく。また、職員間においても定期的な確認や研修の機会を設けることで、内容の理解と実践の徹底を図っていく。